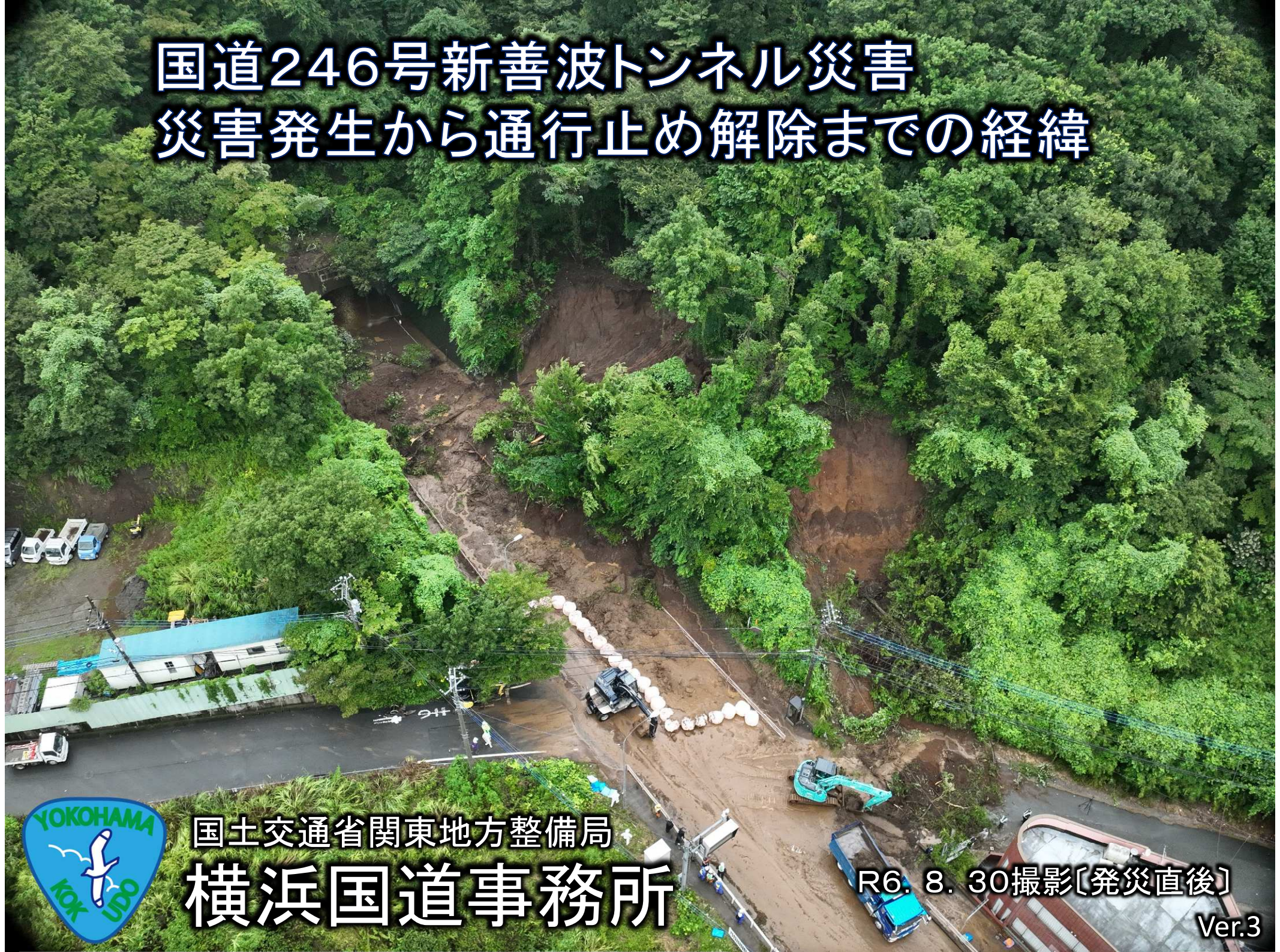


国道246号新善波トンネル災害 災害発生から通行止め解除までの経緯



国土交通省関東地方整備局
横浜国道事務所

R6. 8. 30撮影[発災直後]

Ver.3

皆様へ 多大なるご理解とご協力を賜り、ありがとうございました。



令和6年8月30日(金)台風10号に伴う豪雨により、神奈川県伊勢原市善波地先において国道246号新善波トンネル付近の法面崩落が午前7時6分に発災し、通行止めを開始いたしました。

台風10号に伴う伊勢原市での豪雨は、発災までの24時間累積雨量が378mmと同市の8月の平均降水量の約2.7倍の降水量でした。

道路に崩落した土砂に複数台の車両が巻き込まれているとの一報も寄せられ、人命の救出を第一優先とし消防署とともに土砂の除去を行い、2台の車両が巻き込まれておりましたが、怪我をされた方がいないことを確認いたしました。

その後、午前11時過ぎより、道路を塞いだ土砂の撤去作業を進め、午後には、ドローンでの調査や専門家である国土技術政策総合研究所及び翌日8月31日(土)には横浜国立大学大学院 早野教授に現地を調査していただきました。9月2日(月)には調査結果を踏まえた『国道246号伊勢原市善波地区法面崩落対策検討委員会』を開催し応急復旧に向けたご助言をいただき、無人の施工機械も活用しながら昼夜連続で応急復旧工事を進めてまいりました。

国道246号は、起点の東京都から神奈川県・静岡県等を結ぶ、交通の大動脈である幹線道路の一つであり、通行止めにより周辺道路の混雑が増大し、通勤・物流・救急・観光等国民生活への影響が大きいことから、並行する新東名・東名高速の代替路(無料化)措置も実施しながら、専門家・一般貨物自動車運送事業者・交通事業者・交通管理者・地元行政・道路管理者で構成される『国道246号等災害時交通マネジメント検討会』を開催し、伊勢原市・秦野市周辺の道路交通円滑化を図るため関係機関が連携して検討・調整を実施いたしました。

地域の皆様及び道路利用者の皆様には8月30日(金)の発災以降、長期に亘る通行止めによりご迷惑、ご不便をおかけしてしまいましたが、この度、9月9日(月)午前6時に通行止めを解除し、対面通行での交通開放を行うことができました。

本日、交通開放(対面通行)ができたことは、皆様のご理解・ご協力、関係機関及び応急復旧工事に従事いただいた皆様のご協力のたまものであります。ありがとうございます。

今後、本格的な復旧に向け、応急復旧工事施工箇所を基本とし、本復旧工事を進めてまいります。
引き続きのご理解とご協力をお願いいたします

横浜国道事務所職員一同、激甚化する台風などの風水害、地震、雪害等における危機管理体制を強化し、迅速な対応により、早期復旧を目指します。

なお、国民の安全・安心で豊かな社会を下支えしていくことが使命であることを改めて心得、建設産業・建設業界のご協力の下、災害に強い安全・安心な国民生活の確保に取り組んでまいります。

令和6年9月9日(月)

横浜国道事務所長 宮本 久仁彦



8月30日(金)7:06
法面崩落発生



8月31日(土)11:00
早野教授 現地調査



9月1日(日)19:30
無人化施工



9月3日(火)15:30
仮設防護工設置



9月9日(月)6:00
交通開放(対面通行)

■位置図



出典：国土地理院地図（電子国土Web）

概要

○令和6年8月30日7時6分頃、台風10号に伴う豪雨により国道246号新善波トンネルの厚木側坑口付近の法面が崩落し神奈川県伊勢原市桜坂交差点～秦野市名古屋交差点間で通行止めを行い復旧工事を実施。

【被災規模】

- ・道路全面に土砂流入（道路幅員10m）
- ・流入土砂の規模 約1,000m³

【伊勢原市の降水量】

- ・378mm(8月29日7時～8月30日7時)

災害発生から通行止め解除までの経緯(1/4)



経緯

■令和6年8月30日(金)

○7時6分頃 台風10号に伴う豪雨により、国道 246 号神奈川県伊勢原市善波地先で、

国道246号新善波トンネルの厚木側坑口付近の法面崩落が発生

車両2台が巻き込まれるが負傷者は無し

※流入土砂の概要:道路全面に土砂流入(道路幅員10m)

(延長 約 40m、高さ 約 15m、体積約 1, 000m³ ※目視による推定)

○8時00分～ 神奈川県伊勢原市桜坂交差点～秦野市名古木交差点間で通行止め開始

○11時15分～ 土砂撤去開始(10社)

○12時30分～ ドローン調査開始

○15時00分～ 国土交通省国土技術政策総合研究所による発生原因調査を実施

○21時00分～ 安全性の観点から、坑口付近の土砂撤去について、無人化施工を開始

■令和6年8月31日(土)

※土砂撤去作業(11社)、応急復旧方針検討を継続

○10時00分～ 学識者(横浜国立大学 早野教授)による調査、応急復旧方針アドバイス

○10時00分～ 並行する新東名高速道路(E1A)の代替路(無料通行)措置

○22時00分～ 並行する東名高速道路(E1)の代替路(無料通行)措置(※22時東名通行止め解除後)

■令和6年9月1日(日)

※土砂撤去作業(10社)、応急復旧方針検討を継続

■令和6年9月2日(月)

※路面上の土砂撤去が完了(10社)、応急復旧方針検討を継続

○13時00分～ 国道246号 伊勢原市善波地区法面崩落対策検討委員会 開催

○14時00分～ 国道246号等災害マネジメント検討会 開催

○17時00分～ 国道246号 伊勢原市善波地区法面崩落連絡調整会議 開催

○18時00分 交通開放の見込みのお知らせ 【9月2日(月)から2週間程度後】

災害発生から通行止め解除までの経緯(2/4)



■令和6年9月3日(火)

※仮設防護工等を開始(11社)

■令和6年9月4日(水)

※仮設防護工等を継続(14社)

■令和6年9月5日(木)

※仮設防護工等を継続(16社)

■令和6年9月6日(金)

※仮設防護工等を継続(15社)

○ 17時00分 応急復旧工事の完了による通行止め解除(対面通行での交通開放)が9月9日(月)になる見込を公表

■令和6年9月7日(土)

※仮設防護工等の完了(14社)

■令和6年9月8日(日)

※切削オーバーレイ、路面清掃等を実施(10社)

○10時00分 通行止め解除(対面通行での交通開放)が9月9日(月)6時00分になる見込を公表

■令和6年9月9日(月)

○6時00分 応急復旧工事の完了

交通規制の解除(対面通行での交通開放)

並行する東名高速道路(E1)、新東名高速道路(E1A)の代替路(無料通行)措置終了

災害発生から通行止め解除までの経緯(3/4)



■ 国道246号の通行止め後、代替路として一般道路への迂回を案内するとともに、その後、並行する高速道路の新東名高速道路(E1A)、東名高速道路(E1)を代替路(無料通行)として案内



災害発生から通行止め解除までの経緯(4/4)



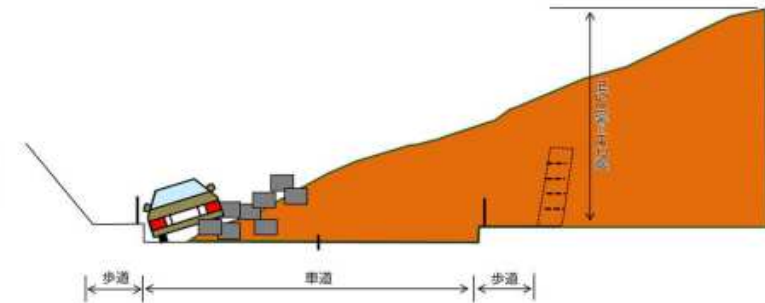
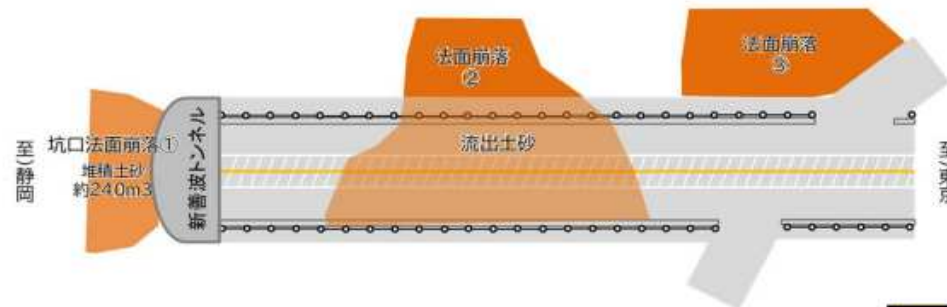
■被災時と対面通行時(応急復旧工事後)のイメージ

平面イメージ

横断イメージ

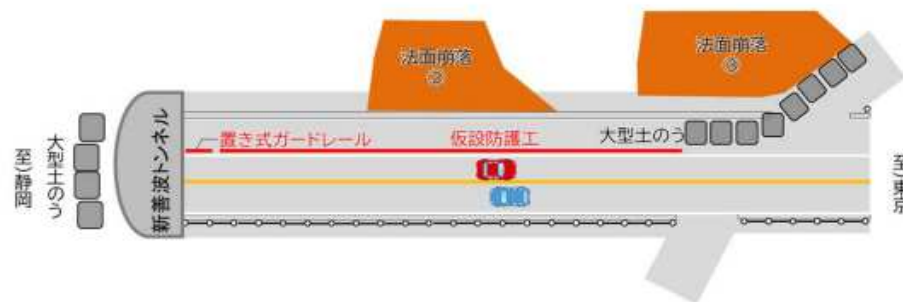
被災時

令和6年8月30日(金)7時6分頃

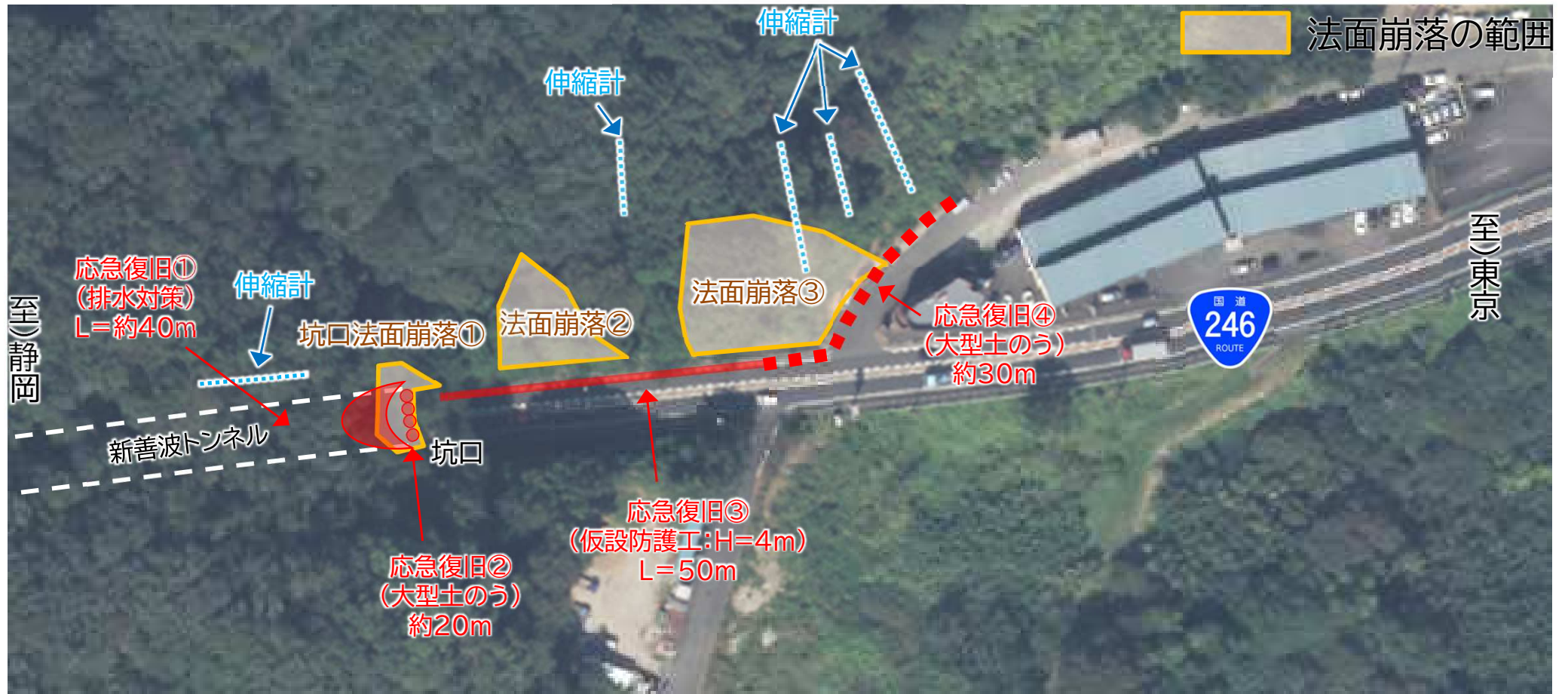


対面通行

令和6年9月9日(月)6時00分頃



応急復旧工事の主な内容



【対策写真】

地理院地図(国土地理院)を加工して作成
R6.9.6時点



R6. 9. 8撮影

至)静岡



R6. 8. 30撮影[発災直後]
至)静岡



交通開放直後の様子 (R 6. 9. 8)

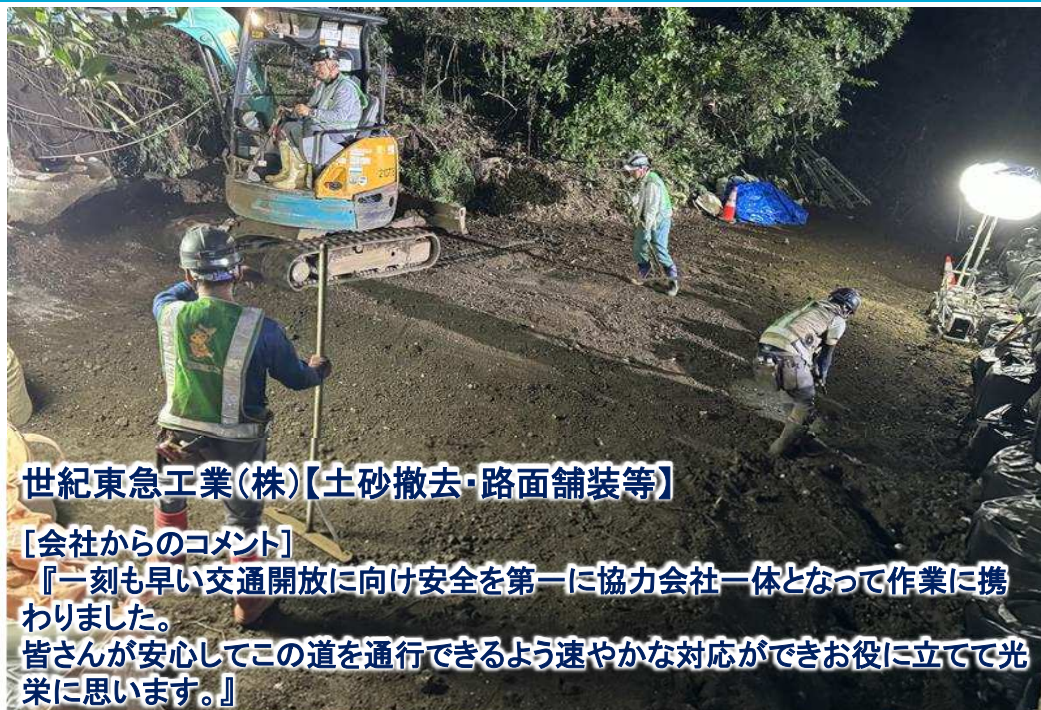


災害対応に従事頂いた企業一覧表



施工業者	作業内容
世紀東急工業（株）	土砂撤去・路面舗装 等
（株）熊谷組	土砂撤去（無人化施工）
（株）フジタ	土砂撤去（無人化施工）
日特建設（株）	仮設防護（鋼製土留め壁）・法面応急保護
大成建設（株）	仮設防護（資材）
国土開発工業（株）	法面応急保護・トンネル漏水応急対策 等
前田道路（株）	大型土のう作成・運搬、残土運搬
（株）日工	区画線設置
（株）エス・ケイ・ディ	仮設ガードレール設置・大型土のう（資材）
日本ロード・メンテナンス（株）	側溝清掃
新日本ロードメンテナンス（株）	路面清掃
横浜植木（株）	除草作業
東照工業（株）	電気設備補修
川上建設（株）	災害対策用機器運搬・操作
ムサン興発（株）	災害対策用機器運搬・操作
（株）池田建設	交通規制
（株）大林組	交通規制
福田道路（株）	交通規制
建設コンサルタント	作業内容
国際航業（株）	トンネル・法面点検等
八千代エンジニアリング（株）	交通開放の車線検討
三井共同建設コンサルタント（株）	迂回路の状況確認、交通状況分析

災害対応に従事頂いた企業の紹介(1/6)



世紀東急工業(株)【土砂撤去・路面舗装等】

【会社からのコメント】

『一刻も早い交通開放に向け安全を第一に協力会社一体となって作業に携わりました。
皆さんが安心してこの道を通行できるよう速やかな対応ができお役に立てて光栄に思います。』



(株)熊谷組【土砂撤去(無人化施工)】

【会社からのコメント】

災害に対する迅速かつ冷静な対応を日頃より協力会社と一丸となって心がけております。
今回の災害復旧でも、企業市民として社会に貢献できた事を光栄に思います。



(株)フジタ【土砂撤去(無人化施工)】

【会社からのコメント】

さらなる土砂崩壊に対応するため、無人化BHを現地に待機しました。
坑口上の泥土処理とあわせ、復旧に貢献できてよかったです。



日特建設(株)【仮設防護(鋼製土留め壁)・法面応急保護】

【会社からのコメント】

災害復旧に役立つ会社として貢献できたことを誇りに思います。
また、緊急要請に対応していただいた協力会社の皆様に感謝致します。

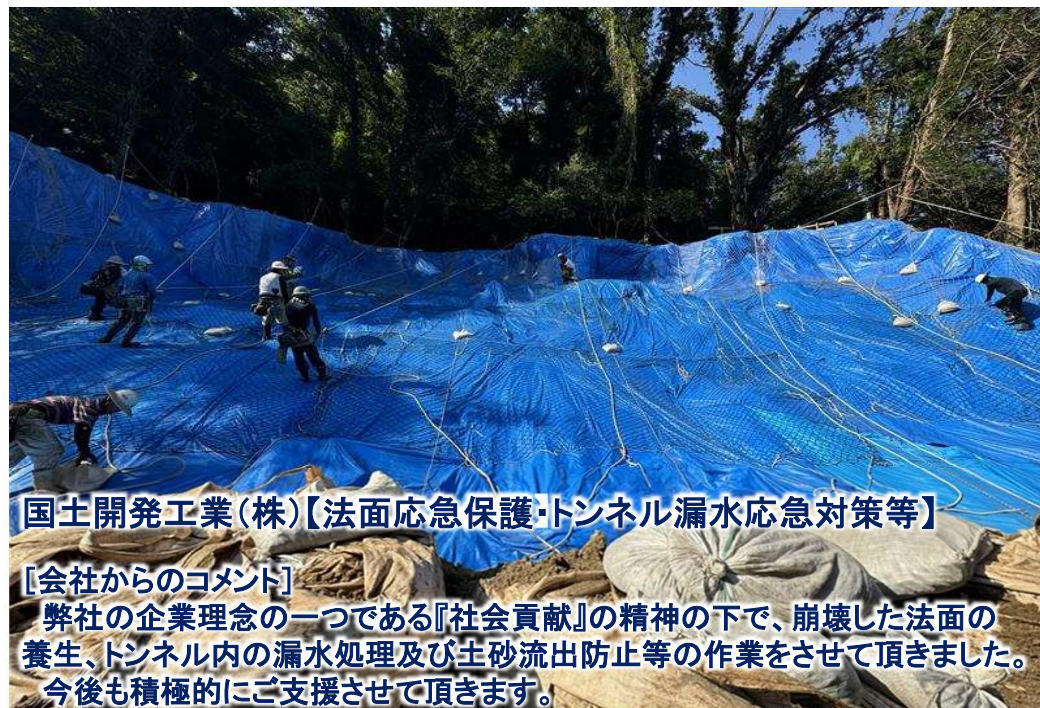
災害対応に従事頂いた企業の紹介(2/6)



大成建設(株)【仮設防護(資材)】

【会社からのコメント】

『自然災害が発生した場合において、ライフライン等の早期復旧に従事することは総合建設会社である弊社の使命の一つであり、今回の道路復旧に貢献できたことは光栄に存じます』



国土開発工業(株)【法面応急保護・トンネル漏水応急対策等】

【会社からのコメント】

弊社の企業理念の一つである『社会貢献』の精神の下で、崩壊した法面の養生、トンネル内の漏水処理及び土砂流出防止等の作業をさせて頂きました。今後も積極的にご支援させて頂きます。



前田道路(株)【大型土のう作成・運搬、残土運搬】

【会社からのコメント】

当社の特徴である地域に根差した営業所と二箇所の合材工場が、一丸となり災害協定の責務を果たすために作業に取り組みました。



(株)日工【区画線設置】

【会社からのコメント】

急な要請ではありましたが、対応業者一丸となり、当初見込んだ日数より短縮でき、早期に交通開放することができました。

少しでもお役に立てて光栄です。

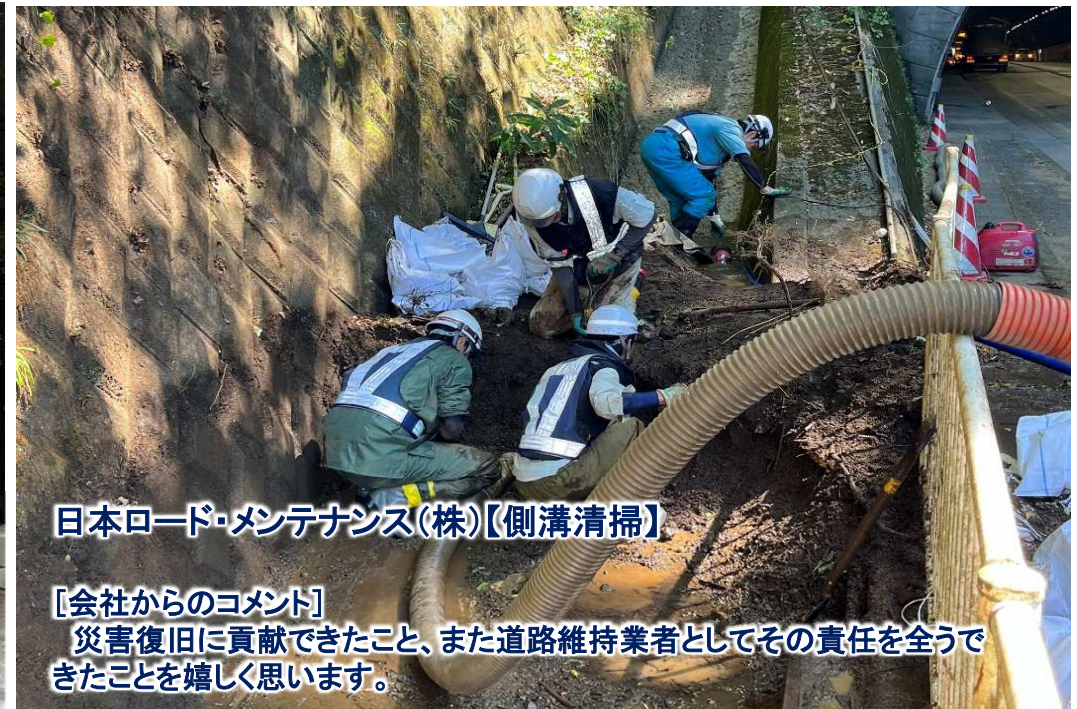
災害対応に従事頂いた企業の紹介(3/6)



(株)エス・ケイ・ディ【仮設ガードレール設置・大型土のう(資材)】

【会社からのコメント】

一刻でも早い「通行止め解除」のため、弊社に任された応援業務を協力会社一丸となって懸命に行いました。



日本ロード・メンテナンス(株)【側溝清掃】

【会社からのコメント】

災害復旧に貢献できたこと、また道路維持業者としてその責任を全うできたことを嬉しく思います。



R246新善波TN下り1 61.10kp

新日本ロードメンテナンス(株)【路面清掃】

【会社からのコメント】

「災害現場の地域住民や道路利用者の為に、一刻も早い復旧をめざし作業に取り組みました。」
神奈川県伊勢原市善波



横浜植木(株)【除草作業】

工事名 47 横浜植木株式会社管内地区道路管理(47.2.24)

【会社からのコメント】

緊急災害時の迂回路となる歩道の除草を行いました。お役に立てて光栄です。

災害対応に従事頂いた企業の紹介(4/6)



東照工業(株)【電気設備補修】

【会社からのコメント】

一刻も早い復旧のため、自分たちの出来ることを一生懸命行った。



川上建設(株)【災害対策用機器運転・操作】

【会社からのコメント】

突発的に起きてしまった災害に対して、普段より監督員との確立されている連携を更に強化し、各業者が力を集結した結果、早期開放に繋がったと思います。



ムサシ興発(株)【災害対策用機器運転・操作】

【会社からのコメント】

『国交省の早い判断と各業者間の連携により早い復旧につながり、今後の災害対応に活かしていきたいと思います。』



(株)池田建設【交通規制】

【会社からのコメント】

安全第一で交通誘導を行い、自分たちの出来ることを一生懸命行った。

災害対応に従事頂いた企業の紹介(5/6)



(株)大林組【交通規制】

【会社からのコメント】

『災害復旧の後方支援として、少しでもお役に立てて良かったです。
道路規制・交通誘導にあたり協力会社そして何より迂回にご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。』



福田道路(株)【交通規制】

【会社からのコメント】

安全第一で交通誘導を行い、二次災害の発生防止に努めました。



国際航業(株)【トンネル・法面点検等】

【会社からのコメント】

日頃から磨いている“斜面・トンネルの調査技術”や“3次元点群の計測解析技術”で災害対応に貢献できて良かったです。引き続き本復旧に向けてご協力させていただきます。



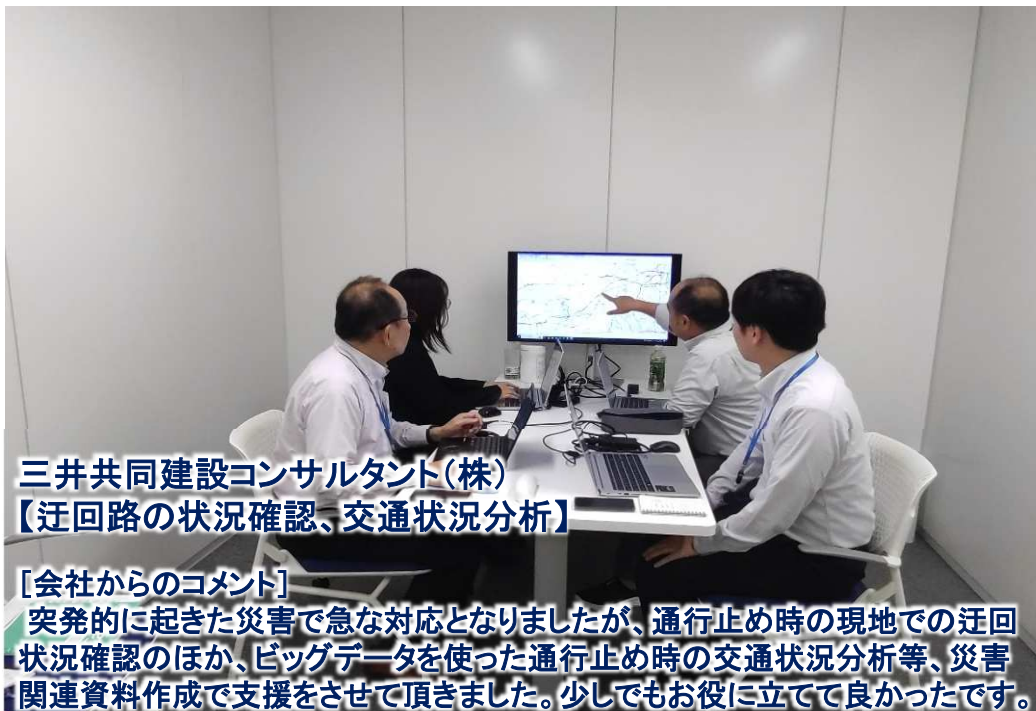
八千代エンジニアリング(株)

【交通開放の車線検討】

【会社からのコメント】

災害対応体制を整えていたため即日に仮設道路設計・協議図面作成に着手し、早期の交通開放の一助として貢献できたことを光栄に思います。

災害対応に従事頂いた企業の紹介(6／6)



三井共同建設コンサルタント(株)
【迂回路の状況確認、交通状況分析】

【会社からのコメント】

突発的に起きた災害で急な対応となりましたが、通行止め時の現地での迂回状況確認のほか、ビッグデータを使った通行止め時の交通状況分析等、災害関連資料作成で支援をさせて頂きました。少しでもお役に立てて良かったです。

災害対応に従事した職員等の紹介(1／1)



災害対応に従事頂いた企業の皆様と横浜国道事務所職員との作業内容の打合せ状況(現地、災害対策本部車内)



国土技術政策総合研究所 職員【現地調査】



横浜国道事務所 職員【夜間点検】



関東技術事務所 職員
【災害対策用機械管理】

